令 和 2 年 度

（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

事 業 報 告 書

社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会

決議月日　６ 月 28 日

令和２年度事業報告書

はじめに

本年度は、全国的に新型コロナウイルス感染症が広がり、その対応に追われた１年となりました。

昨年１月 16 日に国内ではじめての感染者が確認され、その後、急速に全国に広がり、福岡県においては２月 20 日に確認されました。また、３月 30 日に東京オリンピックの開催が１年間延期され、太宰府市においても感染症の拡大防止対策を最優先とする判断の下で、市内公共施設の全てを休館することになり、手話奉仕員養成講座なども中止いたしました。

４月７日には、福岡県を含む７都府県に緊急事態宣言が発出されました。

このような状況を踏まえ、本会において４月１日から当面の間、総合福祉センターを臨時休館、福祉バスは運休の措置を取りました。その後、緊急事態宣言の解除による社会の情勢等を踏まえ５月 19 日から再開としましたが、減少傾向にあった感染者数が再上昇し、７月に第２波、年明けには第３波が押し寄せるなど収束の目途が立たない状況が続いています。

令和２年度は第三次太宰府市地域福祉活動計画の成果目標を達成すべく事業の推進に努めていくこととしておりましたが、コロナ禍の中で、大規模イベントの社協福祉まつりや各種のボランティア養成講座を中止し、生活困窮者を対象とする生活福祉資金貸付事業緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付業務にあたり、感染対策として、館内器具備品等の消毒作業及び来館者の検温に努め、日常の保育業務をはじめ、“たんぽぽクラブ”“ほのぼのサービス”“移送サービス”等については、細心の留意を払いながら継続して事業の推進及び支援に努めてまいりました。

また、厳しい社会経済情勢の中で実施しました共同募金運動につきましては、自治会長をはじめとする住民の皆様、各法人、関係団体、事業所等多くの皆様にご理解とご協力ご支援をいただき、昨年同規模の実績を得られましたことに心から感謝を申し上げます。

さて、本会が令和２年度に取り組んできました主要な事業について、次ページ以降のとおり取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

地域における公益的な取り組みについて

「太宰府市社会福祉法人連絡会」においては、これまで担当者会議を開催して各法人による公益事業への取り組みや大規模災害時における被災者支援について情報交換を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各法人とも通常以上の業務量を要している状況等があり、本年度の会議は自粛しました。

生活支援体制整備事業の取り組みについて

本年度、市との協議調整により協議体の設置計画書を作成し、令和２年11月に開催された自治協議会全体会において概要等の説明を行いました。

併せて、本事業について住民の皆様への理解と関心を深めていくことを目的に“かわら版（令和３年３月創刊号)”を発行し全地域の隣組回覧を行いました。

第２層協議体のモデル地区としている東中学校区におきましては、７行政区の自治会長に呼びかけて３月30日をもって協議体をスタートしました。

コロナ禍において、今後当面の間、校区全体への呼びかけは控えることになりますが、民生委員、福祉委員、ひまわり会等の地域福祉活動関係者など小単位の話し合いの場を進め、その内容を“かわら版”を通じて校区全体に情報共有化を図りたいと考えています。

市内大学との連携協定について

本年度は、社協福祉まつり「出会いの広場」事業が開催できませんでしたが、連携協定の主旨に沿って社協の事務局及び保育所において市内大学から現場実習生を受け入れています。

また、筑紫女学園大学の学生グループ“LYKKE”と共催で実施している「太宰府子どもふれあい広場」につきましては、８月と11月の２回、総合福祉センターで実施し、それぞれ53名、71名の参加がありました。

５月の実施は見送りとしましたが、長引く休校により生活リズムが乱れがちな子どもたちに睡眠の大切さを伝えようとクイズ形式で楽しく学ぶことが出来る“動画”を作成しました。

この動画はYouTube及び社協のホームページでも視聴することができますが、

ＮＨＫの放送番組や新聞報道にも取り上げられています。

令和３年２月８日、筑紫女学園大学の大西良研究室の主催で生活困窮の状態にある市内の大学生及び留学生を対象に食事支援や生活相談会が開催され、本会も共催者という立場で参画しました。当日は 60 名を超える学生の来場があり、これも多くの報道機関による取材があるなど、コロナ禍において注目された取り組みとなりました。

共同募金運動の取り組みについて

この運動は、「国民助け合い運動」として、昭和 22 年から全国一斉に始まった歴史あるボランティア活動であり、本年度で 74 回目を迎えています。

本年度は、厳しい社会経済情勢が続く中、自治会長をはじめとして住民の皆様、民生委員児童委員、福祉委員、関係団体や事業所の多くの皆様方のご理解ご協力ご支援を賜り、昨年度と同等の募金実績を上げることが出来ました。

関係者の皆様には心からお礼を申し上げます。

保育所太宰府園の運営について

通常保育事業については、国の基準に基づいて保育士等の確保に努めながら、年間平均で 129 名の園児を受け入れています。

コロナ禍において、日によっては園児数が 10 数名という日もありましたが、総体的には、太宰府市内における待機児童の問題解消に貢献できたものと考えております。

子育て支援センター『たんぽぽクラブ』及び出前保育パフ『Puff』については、４月から３ヶ月間及び本年１月に発出された緊急事態宣言期間中の活動を自粛しています。また、園舎内活動（たんぽぽサロン、園庭開放、青空文庫、育児相談）は、４月から２ヶ月間の自粛となりました。

コロナ禍にあり、子どもたちの健全な発育を最優先に考え、ご家族との連絡を密に取りながら、かつ、様々な工夫を凝らしながら保育業務に努めました。

総合福祉センターの休日開館について

本年度、総合福祉センターの休日開館や在り方等について、市民アンケートを

計画していましたが、コロナ禍にあり実施できませんでした。

今後の課題として、次年度において検討してまいります。

地域における居場所づくりについて

コロナ禍において、社会からの孤立や引きこもりの問題は更に深刻化しているとの報道もあります。

自粛が求められる中、居場所づくりの重要性について適宜に広報誌等を通じて情報提供に努めていく必要があると考えています。

本年度は、「太宰府子どもふれあい広場」「大学生への食糧支援・生活相談会」「たんぽぽクラブ」「出前保育」等を実施し、「コロナ禍における地域のつながりづくり」「や「地域ふれあいサロン活動」等について、広報誌等への掲載を行っています。

また、福祉委員研修及び小地域福祉活動実践者研修については中学校区単位の分割開催など３密対策に工夫を凝らしてまいりました。

災害支援への取り組みについて

太宰府市地域防災計画において、本会は、市の要請により“災害ボランティアセンター“を設置し運営することとなっています。

本年度、市と事前に取り決めておくべき事項について協定書の締結を目指しておりましたが、コロナ禍の中、思うように進めることが出来ませんでした。

今後、可能な限り早期に調整を整えていく必要があると考えております。

また、大規模災害の発生を想定した災害ボランティアセンター設置運営訓練についても検討を進めてまいります。

このほか、各事業の実績報告等につきましては、次ページ以降のとおりです。

以上、令和２年度の事業を推進するに当たり、地域の皆様、市及び関係団体等の皆様には多大なるご支援ご協力を賜り、心からお礼を申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和２年度　事業報告（拠点１：社会福祉協議会経営）

職員構成（17名）

事務局長１名、事務局次長１名、職員８名、嘱託職員６名、臨時職員１名（３月末現在）

１　法人経営

(1)　理事会等の開催状況

ア　理事会４回

・５月21日　出席理事10名、監事２名

・６月11日　出席理事10名、監事２名

・11月27日　出席理事11名、監事２名

・３月23日　出席理事10名、監事２名

イ　評議員会４回

・６月４日　出席評議員13名、監事１名

・６月29日　出席評議員14名、監事２名

・12月７日　出席評議員13名、監事１名

・３月30日　出席評議員11名、監事１名

ウ　評議員選任・解任委員会１回

・５月28日　出席委員５名

エ　監査２回

・５月19日　出席監事２名

・11月16日　出席監事２名

(2)　会議及び研修会の参加状況

ア　役員、評議員及び事務局長（延べ参加人数　３人）

月　日	会議及び研修会の名称	開催場所	人　数
12月4日	令和２年度市町村社協　会長・事務局長研修会	福岡市 （中小企業振興センター）	２人
12月10日	令和２年度人権啓発推進員研修	福岡市（福岡県庁）	１人

イ　社協職員（延べ参加人数　55人）

月　日	会議及び研修会の名称	開催場所	人　数
4月7日	福岡地区地域福祉活動職員連絡会役員会	久山町（久山会館）	１人
6月9日	福岡地区地域福祉活動職員連絡会役員会	春日市（社会福祉センター）	１人
7月1日	令和2年度福岡県日常生活自立支援事業 専門員業務説明会	春日市（クローバープラザ）	１人
6月5日	筑紫五市生活支援コーディネーター情報交換会	オンライン研修	２人
6月9日	福岡地区地域福祉活動職員連絡会役員会	春日市（社会福祉センター）	１人
7月27日	第14回福岡県生活支援コーディネーター連絡会	中間市 （なかまハーモニーホール）	２人
7月30日	令和２年度成年後見制度利用促進基礎研修会	春日市（クローバープラザ）	２人
8月7日	令和２年度法人後見受任社協等連絡会	春日市（クローバープラザ）	２人

8月21日	福岡県地区地域福祉活動職員連絡会 令和２年度第１回情報交換会	春日市（クローバープラザ）	２人
8月28日	令和２年度福岡県日常生活自立支援事業 専門員研修会Ⅰ	春日市（クローバープラザ）	２人
9月11日	第９回 筑紫五市生活支援コーディネーター情報交換会	大野城市 （総合福祉センター）	２人
9月15日	育児休業・介護休業に関する事務講習会	福岡市 （博多バスターミナル）	１人
9月16日	令和２年度会計担当者研修	春日市（クローバープラザ）	１人
9月24日	令和２年度権利擁護のための取組拡充研修会	春日市（クローバープラザ）	２人
9月25日	令和２年度会計担当者研修	春日市（クローバープラザ）	１人
9月25日	福岡県生活支援コーディネーター初任者研修	福岡市 （福岡県農村整備センター）	１人
10月8日	改正パートタイム・有期雇用労働法等説明会	飯塚市 （飯塚コスモスコモン）	２人
10月16日	健康保険給付事務講習会	福岡市（天神ビル）	１人
10月20日	年金制度事務講習会	福岡市 （博多バスターミナル）	１人
10月23日	令和２年度福岡県日常生活自立支援事業 専門員研修会Ⅱ	春日市（クローバープラザ）	２人
10月24日	令和２年度災害ボランティアセンター 運営者育成研修「基本編」	福岡市（八重洲博多ビル）	１人
10月25日	令和２年度災害ボランティアセンター 運営者育成研修「応用編」	福岡市（八重洲博多ビル）	１人
11月4日	年末調整等に関する事務講習会	福岡市（天神ビル）	１人
11月12日	働き方改革関連法実務セミナー	福岡市（天神ビル）	１人
11月12日	感染予防に配慮した「はなれていてもつながる地域づくり」について考える研修会	春日市 （ふれあい文化センター）	１人
12月8日	第10回 筑紫五市生活支援コーディネーター情報交換会	筑紫野市 （総合保健福祉ｾﾝﾀｰ ｶﾐｰﾘﾔ）	２人
12月9日	令和２年度成年後見制度利用促進実践研修会	春日市（クローバープラザ）	２人
12月17日	令和２年度ひきこもり支援者研修会及び 地域ネットワーク会議	春日市 （福岡県精神保健福祉ｾﾝﾀｰ）	１人
12月21日	安全運転管理者等講習	筑紫野市 （生涯学習センター）	１人
1月21日	令和２年度成年後見制度利用促進に係る市町村意見交換会（福岡地区）	福岡市（吉塚合同庁舎）	１人
2月17日	令和２年度移動サービス事例報告会	オンライン研修	１人
2月18日	令和２年度法テラス福岡地方協議会	オンライン研修	２人
2月24日	令和２年度福岡県日常生活自立支援事業 専門員研修会Ⅲ	オンライン研修	１人
2月26日	福岡県生活支援コーディネーターステップアップ研修	福岡市（福岡国際会議場）	１人
3月2日	第11回 筑紫五市生活支援コーディネーター情報交換会	太宰府市総合福祉センター	２人
3月6日	生活支援コーディネーター地域サミットin okinawa	オンライン研修	１人
3月11日	福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」	オンライン研修	３人
3月15日	令和２年度市町村社協職員研修会	オンライン研修	２人

(3)　賛助会費

区　　分	本年度		前年度	
特別賛助会員	49件	490,000円	47件	500,000円
一般賛助会員	618件	738,000円	739件	948,000円
合　　計	667件	1,228,000円	786件	1,448,000円

(4)　寄付金

区　　分	本年度		前年度	
一般寄付	13件	295,806円	25件	2,609,362円
香典返し	5件	105,000円	8件	320,000円
合　　計	18件	400,806円	33件	2,929,362円

(5)　物品寄付

寄付者名	寄付物品
筑紫遊技場組合　太宰府栄	菓子
手芸ボランティアあいの会	手作りマスク、雑巾、 レクリエーション用具及び暖簾
㈱エスケイエンジニアリング	自動消毒液噴霧器及び専用スタンド
春日遊技場組合　キング２	菓子
太宰府市長寿クラブ連合会	タオル
司観光開発㈱　つかさ筑紫野店	菓子

2　企画及び広聴・広報事業

(1)　企画

コロナ禍においても、福祉事業の推進に関する各種の会議及び研修会等に積極的に参加しながら、情報の収集に努めるとともに、運営会議及び課内会議を通じて、職員間の意思疎通と資質の向上に努めました。

(2)　広聴・広報活動の充実

ア　第三次太宰府市地域福祉活動計画の進行管理

・地域福祉活動推進委員会（外部委員10名で構成）１回開催（11月26日）

・福祉事業の調査及び研究、事業開発

イ　社協だより「ふくしのひろば」の発行

・６回発行済（４月号、６月号、８月号、10月号、12月号、２月号）発行部数29,500部

・広報委員会の開催（委員５名）延べ30回開催

ウ　ホームページによる福祉情報提供の充実

・ホームページ委員会の開催（委員５名）延べ８回開催

エ　写真投稿コーナー（フォトコンクール2020）

テーマ「わたしの○○な仲間」に沿った写真を募集し、11月２日（水）～30日（月）の期間、総合福祉センター１階ロビーにて来館者投票によるフォトコンクールを開催しました。

・応募数　15作品（応募者11名）　・投票数　349票

3　地域福祉推進事業

(1)　社協福祉まつり「出会いの広場」事業

本年度においては、当初は11月14日(土)の開催を目指しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への取り組み及び東京オリンピックの延期、市内の各種イベントの中止決定等の社会情勢を踏まえ、７月８日に実行委員会を開き、社協福祉まつり「出会いの広場」事業の本年度の中止はやむを得ないとの判断に至りました。

ア　実行委員会　　1回（21団体で構成）

(2)　総合相談

本年度、開設した相談窓口及び相談件数は以下のとおりです。

なお、社協だより「ふくしのひろば」及びホームページへの掲載、ポスターを配布するなどして、市民の皆様への周知及び啓発に努めました。

〔相談区分別〕

相談区分	実施日及び時間	相談員	本年度	前年度
一般相談	毎月8回（第1～第4水曜日・金曜日） 10:00～15:00	民生委員７名、識見者２名	37 件	19 件
弁護士相談	毎月2回（第2火曜日・第4土曜日） 13:00～16:00	福岡県弁護士会 天神弁護士センター派遣弁護士	101 件	113 件
結婚相談	毎月2回（第1・第3土曜日） 10:00～15:00	識見者３名	201 件	249 件
障がい者相談	毎月1回（第2木曜日） 10:00～12:00	身体障がい者相談員、知的障がい者相談員　３名	6 件	5 件
行政相談	毎月1回（第1金曜日） 10:00～15:00	行政相談員2名	2 件	3 件
暮らしの相談	毎月1回（第2土曜日） 13:00～16:00	暮らしのネットワーク派遣行政書士	19 件	17 件
あんしん相談	毎月1回（第3木曜日） 13:00～16:00	社会福祉協議会顧問弁護士	24 件	30 件
合　　計			390 件	436 件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、４月４日から５月27日まで休止しました。

〔相談事項別〕

分類		件数	分類		件数	分類		件数
法律	人権・法律問題	26	健康・医療	健康・衛生問題	0	福祉・教育	児童福祉・母子保健問題	0
	財産問題	62		医療問題	1		教育・青少年問題	0
	事故問題	8		精神保健問題	2		障がい者・児福祉問題	6
暮らし・住まい	生計問題	10	家族	家族問題	17		母子・父子福祉問題	0
	年金問題	0		結婚問題	201		高齢者福祉問題	5
	職業・生業問題	4		離婚問題	17	その他の問題		22
	住宅問題	9				合　　計		390

(3)　福祉委員等研修会の開催状況

ア　福祉委員

日時	対象校区	内容	参加人数
9月24日（木） 13:30～15:00	学業院 太宰府西	第１回福祉委員研修会 ・「地域福祉の推進及び福祉委員活動について」 ・コロナ禍における福祉委員活動の実践報告	23
9月28日（月） 13:30～15:00	太宰府 太宰府東		31
3月17日（水） 10:00～11:45	太宰府東 太宰府西	第２回福祉委員研修会 （小地域福祉活動実践者との合同研修会として開催） 「地域のつながりコロナ禍でどう守る ～コロナ禍における新しい地域福祉の展開～」 ※「令和2年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー」の動画配信を活用	21
3月17日（水） 13:30～15:15	学業院		13
3月25日（木） 13:30～15:15	太宰府		15

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民生委員児童委員の合同研修は中止しました。
また、研修にあたっては、校区単位に分散して三密対策に努めました。

イ　小地域福祉活動実践者

日時	対象校区	内容	参加人数
12月3日（木） 13:30～15：00	学業院 太宰府東	第１回小地域福祉活動実践者交流研修会 ・事例発表及び情報交換会 事例発表者：通古賀区ひまわり会、高雄台区福祉わかば会、湯の谷ひまわり会、五条台区自治会福祉部 ・レクリエーションの実践と講演 「私と地域が笑顔・元気になるレクリエーション」	29
12月11日(金) 13:30～15:00	太宰府 太宰府西		33
3月17日（水） 10:00～11:45	太宰府東 太宰府西	第２回小地域福祉活動実践者交流研修会 （福祉委員との合同研修会として開催） 「地域のつながりコロナ禍でどう守る ～コロナ禍における新しい地域福祉の展開～」 ※「令和2年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー」の動画配信を活用	8
3月17日（水） 13:30～15:15	学業院		10
3月25日（木） 13:30～15:15	太宰府		7

※研修にあたっては、校区単位に分散して三密対策に努めました。

ウ　子育てサロン実践者

日時	内容	参加人数
3月10日（水） 14:00～15:30	令和２年度子育てサロンスタッフ座談会 情報交換会「コロナ禍での子育てサロン活動について」	13

(4)　小地域福祉ネットワークづくり

自治会単位の小地域福祉活動を促進するとともに、ひまわり会活動やふれあいサロン及び子育てサロンへの支援を行いながら、地域における居場所づくりの推進に努めました。

助成金区分	本年度		前年度	
	件数	助成金総額	件数	助成金総額
小地域福祉活動助成金	31件	1,845,637円	108件	2,496,053円
子育て支援助成金	7件	167,000円	11件	170,000円

(5)　生活福祉資金貸付事業

下表のとおり、生活福祉資金に関する相談及び貸付事務を行ないました。

区分	本年度		前年度	
	件数	貸付金総額	件数	貸付金総額
県社協受託事業	21件	9,016,000円	19件	6,889,000円
市社協単独事業	0件	0円	0件	0円

(6)　特例貸付等

新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮する世帯に対し、緊急かつ一時的な生計維持のため、下表のとおり受付相談事務を行ないました。

区分	本年度		前年度	
	件数	貸付金総額	件数	貸付金総額
緊急小口資金	515件	96,730,000円	12件	1,800,000円
総合支援資金 (初回・延長・再申請)	617件	331,750,000円	0件	0円
総合支援資金 (再貸付)	58件	31,500,000円	―	―
合計	1,190件	459,980,000円	12件	1,800,000円

(7)　お見合いパーティー

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催は中止しました。

(8)　レクリエーション用具の貸出

区　分	本年度	前年度
レク用具	23 件	85 件
おもちゃ	6 件	20 件
その他	8 件	29 件
合　計	37 件	134 件

※その他は、餅つき道具、バーベキューセットなど

4　日常生活自立支援事業（権利擁護事業）

(1)　ほのぼのサービス

この事業は、高齢或いは障がい等により、日常生活において財産の保全、生活資金の管理などが困難となった方に対する会員制の福祉サービスで、本年度の契約者数は以下のとおり66名となっています。

ア　サービス区分別利用者件数

利用者区分	相談及び生活支援		財産保全		財産管理	
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
認知症高齢者	33 人	35 人	26 人	30 人	31 人	32 人
知的障がい者	5 人	4 人	3 人	2 人	4 人	3 人
精神障がい者	14 人	15 人	14 人	15 人	14 人	14 人
そ　の　他	14 人	13 人	6 人	5 人	14 人	13 人
合　　計	66 人	67 人	49 人	52 人	63 人	62 人

イ　相談件数の状況

利用者区分		件　　数	前年度
認知症高齢者		1,901 件	1,903 件
知的障がい者		342 件	145 件
精神障がい者		2,269 件	2,237 件
そ　の　他		264 件	363 件
合　　計		4,776 件	4,648 件
内　　訳	電話	2,921 件	2,663 件
	訪問	1,118 件	1,171 件
	来所	737 件	814 件

(2)　成年後見制度の推進

ア　法定後見業務　保佐人2件

イ　任意後見業務　契約数2件（うち後見業務1件）

(3)　ほのぼのサービス運営審議会開催状況

開催日時等		出席委員数	審議の内容等
第１回	令和２年６月４日（木） 14:00～16:00 総合福祉センター３階	５名	1　事業報告 第1回（令和２年１月～４月） 第2回（令和２年５月～９月） 第3回（令和２年10月～12月） 2　新規契約者状況 3　相談・契約月報 4　法定後見（保佐人）業務の状況 5　あんしん相談の状況 6　令和２年度事業計画（第1回のみ）
第２回	令和２年10月22日（木） 14:00～16:00 総合福祉センター３階	４名	
第３回	令和３年２月４日（木） 14:00～16:00 総合福祉センター３階	３名	

5　ボランティア活動推進事業

(1)　ボランティア活動の普及促進

ア　ボランティアハンドブックの作成

イ　ボランティア情報の配信（社協だより「ふくしのひろば」、ホームページ、メール等）

ウ　太宰府市ＮＰＯ・ボランティア支援センターとの連携（定例会議等）

(2)　ボランティアの相談窓口　受付件数　60件

(3)　ふれあいヘアカットサービス事業

・実施回数　５回（偶数月の最終月曜日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、４月の開催は中止しました。

・利用者数　延べ30名

(4)　視覚障害者ガイドボランティアとの調整

・調整件数　０件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティア活動を休止されています。

(5)　団体等への支援（支援団体数７団体）

・太宰府市声のボランティアグループ・太宰府手話の会・手芸ボランティアあいの会

・わたぼうし会・太宰府てんとう虫の会・花みずき会

・太宰府市傾聴ボランティア「ロバの耳」

(6)　太宰府を美しくする友の会式典の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典は中止となりました。

(7)　ボランティア活動保険加入促進

・活動保険　加入者数 1,282名（大規模災害特例含む）

・行事保険　14件（延べ477名）

(8)　ボランティア養成講座

ア　手話奉仕員養成講座（市受託事業）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者において中止が決定されました。

イ　ボランティア講座

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

ウ　傾聴ボランティア養成講座（平成31年度からの継続分を再開して開催）

前年度、全６講座中第４講座以降が実施できなかったため、本年度に延期して以下のとおり開催いたしました。

傾聴の基本技術や心構えなどを学ぶことにより、地域における高齢者及び障がい者等の孤立防止及び居場所づくりに寄与する人材の養成に努めました。

・期　　間　令和２年11月４日～令和２年11月11日
・講座回数　２講座（全６講座中、新型コロナウイルスの影響により延期していた第４講座以降のみを実施）
・受 講 者　15名

エ　認知症サポーター養成講座（小中学生向け）の開催
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

6　児童福祉推進事業

社協職員或いはボランティアの派遣を通して福祉教育への関わりを深め、児童の思いやりや助け合いの醸成を図るとともに、教育関係者との連携強化を目的に市内の公立、私立及び県立小学校との情報共有に努めました。

また、子どもたちが福祉に触れる機会の創出や、子どもを取り巻く諸問題の啓発に取り組みました。

(1)　福祉協力校指定事業
・福祉協力校連絡会の開催
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため連絡会の開催は中止としましたが、各学校への個別訪問を通して、関係づくり、情報共有に努めました。
・福祉協力校の指定　市内６小学校
福祉教育教材「ともに生きる」の配布　市内６小学校、特別支援学校（750部）
・総合的な学習の支援　市内４小学校（職員派遣11回）

(2)　福祉体験イベントの開催「こども福祉体験2020」
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

(3)　児童福祉月間講演会の開催
※本年度、以下の内容で開催が決定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。
・テーマ　不登校・ひきこもりに寄り添うために～みんなが幸せになるという視点で考える～
・講　師　長阿彌　幹生さん（教育文化研究所代表・不登校サポートネット代表）
・日　時　令和２年５月25日（月）13：30～15：00
・場　所　太宰府市総合福祉センター

7　福祉団体等支援事業

(1)　支援団体
・太宰府市民生委員児童委員連合協議会（高齢者、子育て世帯、障がい者世帯など地域福祉に関する活動支援）
・介護のふれあい会（在宅介護者への支援）

・太宰府市長寿クラブ連合会（高齢者団体の活動支援）
・太宰府市身体障害者福祉協会（障がい者団体の活動支援）
・ＮＰＯ法人太宰府障害者団体協議会（障がい者団体の活動支援）
・水曜会（脳血管障害等による中途障がい者の会の活動支援）
・太宰府市母子寡婦福祉会（母子寡婦福祉会の活動支援）

(2)　福祉用具の貸出

区　　分	本　年　度	前　年　度
車椅子	74 件	139 件
介護用電動ベッド	0 件	12 件
合　　計	74 件	151 件

※介護用電動ベッドは耐久年数が超過し安全性が危ぶまれるため、7月以降貸出を中止しました。

(3)　その他の支援事業

ア　学習支援

福岡県母子寡婦福祉連合会が福岡県の委託により“ひとり親家庭の児童生徒”に対して学習支援や進路相談を行う「太宰府市塾」を開講するにあたり、会場の提供及び広報を通じて市民の方への周知に努めました。

イ　移動支援

社協が保有する移送サービス車両（車椅子リフトカー付き）３台を活用し、移動支援の必要に応じて、運転ボランティアとの調整に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は、行先を通院等に制限し、かつ利用者と運転ボランティアの安全への配慮にも努めました。

・登録者数　12名
・利用回数　117回

ウ　声のテープ又はデイジー図書の配付

太宰府市声のボランティアグループの活動（社協だより、市広報紙及び議会だよりを音声で録音）と連携し、視力に障がいのある方への情報提供に努めました。

・利用者数　延べ161名（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、５月は配付を休止）

エ　点字図書の配布

太宰府市てんとう虫の会の活動（社協だよりを点字図書に翻訳）と連携し、視力に障がいのある方への情報提供に努めました。

・利用者数　延べ30名

オ　身体障害者補装具購入補助　30,000円

カ　重度身体障がい者への電話料助成　２台

8　共同募金運動（福岡県共同募金会太宰府市支会）

(1)　一般募金

“自分のまちを良くするしくみ”をコンセプトとして、太宰府市自治協議会をはじめ各法人及び企業等と連携しながら、赤い羽根共同募金運動の推進に努めました。

（募金実績）

募金の種別	本年度	前年度
戸別募金	9,331,234円	9,188,871円
大口募金（個別・法人等）	1,578,560円	1,795,787円
資材募金（バッジ、図書カードほか）	653,476円	651,703円
街頭募金	74,117円	160,835円
職域・任意団体募金	76,917円	71,245円
学校募金	123,212円	166,654円
その他（自販機、イベント募金ほか）	240,661円	363,755円
合　　計	12,078,177円	12,398,850円

(2)　歳末たすけあい募金

12月及び翌年１月に行われる地域の助け合い活動や交流事業等の推進を図るため、各自治会、福祉施設、ボランティア団体、地域食堂などに配分し、活動支援に努めました。

（募金実績）

募金の種別	本年度	前年度
歳末たすけあい募金	4,179,533円	4,086,403円

(3)　太宰府市支会理事会等の開催

ア　理事会２回

・８月19日　出席理事15名、監事２名

・３月８日　出席理事14名、監事２名

イ　支会長副支会長会議４回

・８月７日　出席支会長副支会長４名

・11月４日　出席支会長副支会長４名

・１月８日　出席支会長副支会長４名

・３月１日　出席支会長副支会長４名

ウ　会計監査１回

・２月15日　出席監事２名

(4)　募金運動の普及啓発

ア　街頭募金による啓発活動

・10月１日　７：30～８：30（市内西鉄３駅）、10：00～11：00（市内４店舗）

・12月１日　10：00～11：00（市内４店舗）

イ　広報等による周知

社協だより「ふくしのひろば」及びホームページへの掲載、ポスターを掲示するなどして、市民の皆様への周知及び啓発に努めました。

9　総合福祉センターの運営

適切な施設の管理運営に努めるとともに、地域福祉活動の拠点施設として、民間福祉活動の支援やボランティアの養成に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、４月１日から５月18日まで臨時休館とし、また、５月19日から５月31日までは平日の開館時間を午後８時まで短縮、土曜日は休館としました。

(1)　開館日数　256日（当初開館予定　296日）

(2)　利用状況

部屋区分	本　年　度		前　年　度	
相　談　室	176 件	480 人	194 件	520 人
和　　室	81 件	807 人	100 件	1,513 人
調　理　室	13 件	255 人	38 件	741 人
機能回復訓練室	101 件	727 人	103 件	756 人
ボランティア室	149 件	1,555 人	241 件	3,311 人
視聴覚室	28 件	219 人	49 件	394 人
大会議室	226 件	4,060 人	228 件	6,906 人
研　修　室	93 件	791 人	168 件	1,580 人
合　　計	867 件	8,894 人	1,121 件	15,721 人

(3)　利用料金

区　　分	本　年　度	前　年　度
使用料	51,000 円	38,000 円
空調費	245,700 円	337,600 円
合　　計	296,700 円	375,600 円

10　太宰府市立老人福祉センターの運営（指定管理事業）

適切な施設の管理運営に努めるとともに、老人福祉センター条例に基づき、原則60歳以上の高齢者における憩いや交流の場として様々な催しを実施し、高齢者の健康増進に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、４月１日から５月18日まで臨時休館とし、また、５月19日から本年３月31日までの開館時間を１時間短縮し午後３時までとしています。

(1)　開館日数　250日（当初開館予定　286日）

(2)　利用者数

区分	市内利用者	市外利用者	その他	合　　計
本年度	10,797 人	33 人	0 人	10,830 人
前年度	15,763 人	172 人	114 人	16,049 人

(3)　利用料金

区分	市内利用者	市外利用者	その他	合　　計
本年度	552,950 円	6,600 円	0 円	559,550 円
前年度	870,900 円	34,400 円	4,500 円	909,800 円

(4)　ヘルストロン利用

・年間利用者数　783人（月平均74人）　　・利用料収益　39,150円（１回50円）

※月平均は休館期間（1.5月）を除いて計算

(5)　交流事業

例年開催しています「お楽しみ交流会」「お役立ち講座」「岩﨑記代子さん参加型ミニコンサート」「保育所太宰府園児と七夕交流会」「鏡開き交流会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止をしました。

(6)　機能回復事業

ア　いきいき健康体操

実施日	事　業　名	参加者数
11月16日	いきいき健康体操	9 人
12月10日	いきいき健康体操	9 人
1月27日	いきいき健康体操	5 人
2月25日	いきいき健康体操	5 人
3月10日	いきいき健康体操	9 人
計		37 人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最大人員を10人に制限しました。

イ　健康（リズム）体操

実施日	事　業　名	参加者数
11月19日	健康リズム体操	9 人
12月17日	健康リズム体操	10 人
1月21日	健康リズム体操	6 人
2月18日	健康リズム体操	3 人
3月18日	健康リズム体操	8 人
計		36 人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最大人員を10人に制限しました。

ウ　健康器具、遊具等の設置

・電動マッサージチェア・フットマッサージャー

・ヘルストロン（有料）

・囲碁・将棋

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用休止

・ダーツ・バンパー（玉つきゲーム）・オセロ

・カラオケ（令和２年12月21日から）

エ　入浴施設の管理

・塩素濃度　毎日２回

・水温検査　毎日２回

・水質検査　　年４回（レジオネラ、濁度、大腸菌、過マンガン酸カリウムほか）

・ボイラー　　年２回（保守点検）

・浴槽清掃　　週１回（男性風呂：土曜日、女性風呂：水曜日）※循環型方式

11　生活支援体制整備事業

コロナ禍の影響を受け、まだ地域全体で集まることは難しいことから、当面は小さな単位で話し合いの場を進めることとし、令和３年３月30日においてモデル地区である東中学校区の自治会長に呼びかけて、協議体（話し合い場）がスタートの運びとなりました。

(1)　ニーズの把握・整理

ア　地域ケア会議への参加

イ　社会資源調査

(2)　協議体の運営及び設置に向けた準備

ア　関係課との協議（14回）

イ　多様な主体との意見交換

・大賀薬局、空き家予防推進協議会　等

・移動販売者７社（シルバー人材センター、グリーンコープ　等）

(3)　事業の周知・啓発

ア　広報での啓発（令和２年６月号）

イ　かわら版の発行（令和３年３月創刊号、市内隣組回覧）

12　福祉バスの運行

福祉バスの運行により、小地域福祉活動などの支援に努めました。

なお、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、４月14日から５月31日まで運休としました。６月１日以降は乗車定員27名を13名以下とし、帰着時間を16時までに繰り上げて運行しています。

・運行日数及び乗車人員

年度	運行日数	乗車人員
本年度	44 日	549 人
前年度	166 日	3,370 人

※運行日は、年末年始及び点検修理車検等に要する日を除く。

・利用時間

時季	運行規程	令和２年度
4月～8月	8：30～18：30	8：30～16：00
9月	8：30～18：00	8：30～16：00
10月～3月	8：30～17：00	8：30～16：00

13　災害支援活動

(1)　ボランティアとして社協職員の派遣

令和２年度も、熊本県を中心に７月から８月にかけて集中豪雨災害が発生し、災害ボランティアセンターが設置されましたが、新型コロナウイルスの状況下、県外の市町村社協への職員の派遣、運営支援の要請はありませんでした。

(2)　ボランティア活動保険（大規模災害特例）加入者41名

活動保険の加入受付を行うことにより、現地センターの業務負担の軽減及び災害ボランティア活動に必要な情報の提供に努めました。

(3)　災害義援金の募金活動

・義援金送付額　531,909円（令和３年３月31日現在）

（令和元年度台風19号、令和２年７月福岡・熊本南・大分豪雨災害）

14　その他

本会では、平成24年度からペットボトルキャップ及びプルタブの回収に取り組んでいます。

集まったペットボトルキャップは、リサイクル業者にて換金後、「世界の子どもにワクチンを（日本委員会ＪＣＶ）」へ送金、プルタブは車いす購入費用として積み立てをしています。

また、プルタブについては、本年度、アルミ製の車いすを１台購入し太宰府市身体障害者福祉協会に贈呈いたしました。

本会に集められたキャップ及びプルタブの回収実績は、以下のとおりです。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、１月より回収を一時休止しています。

(1)　ペットボトルキャップ

※キャップ２kg（800個相当）で１人分のワクチンが提供できます。

・重　量　　1,250kg（累計　8,420kg）

・換金額　　12,500円（累計　84,200円）

(2)　プルタブ

※プルタブ800kg（160万個相当）で車椅子１台が購入できます。

・重　量　　131kg（累計　1,037kg）

・換金額　　6,940円（累計　68,290円）

令和２年度　事業報告（拠点２：保育所太宰府園経営）

○職員構成（35 名）

園長１名　主任保育士１名　保育士 27 名　看護師１名　事務１名　調理師４名

（パート職員も含む）

○園児数（月初日）

月	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	入所率
4 月	10 人	21 人	21 人	22 人	25 人	25 人	124 人	112.7%
5 月	11 人	21 人	22 人	22 人	25 人	25 人	126 人	114.5%
6 月	11 人	21 人	21 人	22 人	25 人	25 人	125 人	113.6%
7 月	12 人	22 人	22 人	22 人	25 人	24 人	127 人	115.4%
8 月	12 人	22 人	22 人	22 人	25 人	24 人	127 人	115.4%
9 月	12 人	22 人	23 人	22 人	25 人	24 人	128 人	116.3%
10 月	14 人	22 人	23 人	22 人	25 人	24 人	130 人	118.1%
11 月	15 人	22 人	23 人	22 人	25 人	24 人	131 人	119.0%
12 月	17 人	22 人	23 人	22 人	25 人	24 人	133 人	120.9%
1 月	17 人	22 人	23 人	22 人	25 人	24 人	133 人	120.9%
2 月	18 人	22 人	23 人	22 人	25 人	24 人	134 人	121.8%
3 月	18 人	22 人	23 人	22 人	25 人	24 人	134 人	121.8%
平均	13.9 人	21.7 人	22.4 人	22.0 人	25.0 人	24.2 人	129.3 人	117.5%
前年度平均	12.8 人	21.3 人	24 人	26 人	25 人	22 人	131.1 人	119.1%

1　通常保育事業

令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底するために、保護者、関係機関とより密接に連携した上で、職員一丸となって安全保育に努めました。また、子どもの実態や発達過程、環境を踏まえて作成した保育計画に沿いながら、子どもの育ちを支える丁寧な保育を実施いたしました。

０・１・２歳児の保育においては、子どもの欲求を適切に満たしながら、基本的生活習慣の自立を促し、日々の保育の中で子どもの心に寄り添う受動的で応答的なかかわりを丁寧に行うように心がけました。また、好きな遊びをのびのび行える保育環境の構成や、五感を刺激する様々な手作りおもちゃの提供も行いました。

３・４・５歳児の保育においては、年齢に応じた衛生知識や衛生習慣の習得などコロナ禍

ならではの取り組みを実施しながら、その中においても変わらず子どもたちが健やかな育ちのための様々な遊びや活動を展開できるように工夫を凝らしながら保育を行いました。

(1) 主な行事

年間行事計画の実施内容に検討を加え、コロナ禍の行事の在り方を模索しながら取り組みを進めました。

〔進級式・入園式、年長児お泊りキャンプ、運動参観日、芋ほり焼き芋会、生活発表会、クリスマス会、餅つき、凧揚げ会、節分、雛祭り、卒園式〕

(2) 食育

子ども達が健康的な生活の基本となる「食を営む力」を培い、食への意欲と喜びを味わう活動を行いました。

ア コロナ禍の食習慣

消毒の徹底、テーブル配置、黙食指導

イ 旬の野菜を知る

野菜の栽培と収穫、そら豆・グリンピースのさやむき、筍の皮むき、トウモロコシの皮むき、芋ほり焼き芋 等

ウ 命をいただく

コロナ感染拡大防止を考慮し、今年度実施なし

エ 友達と一緒に料理や食を楽しむ

麦茶つくり、季節のお楽しみ給食・おやつ、もちつき会、出汁作り、野外炊飯すもも・栗・八朔の収穫 等

オ 伝統行事を知る

月見団子、七草粥、柚の配布（冬至)、もちつき、鏡開き、豆まき・恵方巻 等

カ 保護者との連携

アレルギー調査（年２回)、アレルギー除去食、食育便りの配布、お弁当の日発達に即した離乳食指導、栄養士との個別会議、食事のマナー指導、偏食改善指導離乳食マニュアルの見直しと改善、レシピの紹介 等

(3) 健康支援

保健計画に沿って、子どもの心身の健康の保持及び増進に努め、特に新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防対策の強化に努めました。

ア 嘱託医との共通理解

入所前健診、内科及び歯科検診(年２回)、尿検査(年２回)、投薬の実施、発育相談疾病等の状況確認 等

イ　衛生指導

手指の消毒、手洗い・うがい、歯磨き、伝染病予防と予防接種の勧奨、保健便り配布、感染症マニュアルの厳守と感染予防の徹底（室内換気、検温の徹底、マスク着用の指導）等

ウ　発育状況の把握

身体測定（毎月）、発育調査（年２回）、定期検診受診の呼びかけ　等

エ　心と体の健康作り

マラソン、乾布摩擦、沐浴、鍛錬遠足、SIDS 予防対策（睡眠チェック）、熱中症対策、総合的遊び(戸外遊び、自然散策、水遊び、リトミック、音楽遊び)　等

(4)　保護者支援

コロナ禍に伴う社会の変化や仕事や生活の変化に対応した家庭支援に努めました。

ア　保護者との相互理解

入所説明会、慣らし保育、個人懇談、園便り・クラス便りの配布、連絡ノート、各クラスの掲示板(ドキュメンテーション)、子どもの育ち展(未満児)、ホームページ掲載、苦情・要望の対応、延長保育、個人情報保護、育児相談、感染防止対策における情報提供と協力要請　等

イ　保護者会との連携

保護者会総会（書面)、役員会、園行事への参加　等

ウ　保護者同士の交流

各種行事　等

(5)　専門機関との連携

子どもの実態や家庭環境を把握しながら、その子に応じた関りと支援を実施するために各専門機関との連携を図りました。

ア　健康支援（園医、専門医療機関）

健康診断、アレルギー調査報告書、基礎疾患の対応

イ　療育支援（市役所、療育相談室、こぐま学園）

個別支援計画の作成と共通理解、個別ケース会議、療育機関の保育所訪問と懇談、療育機関の見学、発達心理検査とフィードバック会議、教育支援委員会、学童指導員との打ち合わせ

ウ　虐待防止（市役所、児童相談所）

経過観察中

(6)　地域との交流と連携

地域の方との交流を図り、子どもたちの豊かな体験と育成につなげました。

ア　就学支援（育ちをつなげる）

保幼小連絡会・入学情報交換会への参加、保育所児童保育要録の提出　等

イ　地域との交流（世代間交流と体験）

七夕短冊作り（太宰府天満宮）、勤労感謝のプレゼント作り（中嶋医院及び林歯科医院）、すもも・栗・八朔の収穫　等

(7)　安全管理

子ども達が安心・安全な生活ができるように配慮いたしました。

ア　衛生管理

入室の人数調整と検温、検温顔認証デバイスの設置、衛生作業のための派遣職員の配置、園内の清掃及び消毒、玩具の消毒と入れ替え、室内換気、次亜塩素酸空気清浄機の設置、貯水槽清掃、溜桝清掃、加熱式蒸散害虫駆除（毎月）、医薬品管理

イ　事故防止対策

消防施設点検、園舎・保育室・園庭・遊具等の安全チェック（毎日）、エレベーター検査、散歩経路の確認、公園等の安全チェック（毎回）、事例検討会実施

ウ　非常時における対応

火災・水害・地震・不審者に対応した避難訓練（毎月実施）、消火訓練（年 12 回）、備蓄の管理、各避難マニュアルの見直しと改善

エ　乳児の安全

SIDS 予防対策（睡眠チェック）

(8)　職員の資質の向上

保育実践や研修などを通した個々の職員の保育力の向上に加えて、チーム保育の強化に努めました。

ア　共通理解

職員会議（未満児・以上児・フリー）、リーダー会議、チーム会議、アレルギー会議、離乳食会議、新任職員の育成

イ　専門研修への参加

キャリアアップ研修、保育士研修、調理師研修　等

ウ　振り返りと改善

自己評価（年２回）、中間及び年間の反省、各行事後の反省、事例検討会、カリキュラムマネジメント(PDCA)

≪月別事業報告≫

4　月			
行 事	1(水) 進級式・慣らし保育開始	専門職との連携	1(水) アレルギー検査報告書提出
食 育	16(木) そら豆の皮むき 22(水) 筍の皮むき	地域との連携	
健康支援	15(水) 細菌検査 24(金) 身体測定・発育調査	安全管理	23(木) 避難訓練(火災)消火訓練 24(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者支援	1(水) 園・給食・保健便り配布 9(木) 役員会 15(水) クラス便り	その他	28(火) 職員会 リーダー会5回

5　月			
行 事	28(木) 誕生会(各クラス)	専門職との連携	
食 育	19(火) 夏野菜苗植え 26(火) グリンピースのさやむき	地域との連携	
健康支援	7(木) マラソン開始 21(木) 細菌検査 28(木) 検尿	安全管理	21(木) 避難訓練(不審者) 消火訓練 28(木) 溜枡清掃 29(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者支援	1(金) 園・給食・保健便り配布 7(木) 保護者会総会(書面配布) 15(金) クラス便り	その他	7(木)職員会 14(木)職員会 リーダー会4回

6　月			
行 事		専門職との連携	24(水) きらきらルーム療育訪問
食 育	3(水) ブルーベリーの収穫 8(月) 麦茶つくり 16(火) 芋畑畝つくり 18(木) 弁当の日 22(月) 芋の苗植え、すももとり 23(金) とうもろこしの皮むき	地域との連携	29(月) 七夕短冊(太宰府天満宮)
健 康 支 援	17(水) 細菌検査 25(木) 内科検診	安 全 管 理	11(木) 避難訓練(水害)消火訓練 26(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者 支 援	1(月) 園・給食・保健便り配布 15(月) クラス便り 24(水) 入所説明	その他	リーダー会４回

7　月			
行 事	7(火) 七夕誕生会(各クラス)	専門職との連携	
食 育	14(火) とうもろこしの皮むき 29(水) ミニトマト収穫	地域との連携	14(火) 支援センター会議
健 康 支 援	2(木) 歯科検診 16(木) 細菌検査	安 全 管 理	8(水) 計量測定器検査 30(木) 避難訓練(火災)消火訓練 31(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者 支 援	1(水) 園・給食・保健便り配布 15(水) クラス便り 31(金) 入所説明	その他	リーダー会７回

8　月			
行 事	1(土) 5 歳児お泊り保育	専門職 と の 連 携	7(金) こぐま学園療育訪問 18(火) 発達心理検査 26(水) フィードバック会議 (学校教育課)
食 育	5(水) 枝豆切り 21(金) 食育教室	地 域 と の 連 携	7(金) コスモスの種まき
健 康 支 援	20(木) 細菌検査	安 全 管 理	25(火) 消防施設点検 27(木) 避難訓練(風水害) 消火訓練 28(金) 加熱式蒸散害虫駆除 31(月) 溜枡清掃
保護者 支 援	3(月) 園・給食・保健便り配布 7(金) 入所説明 17(月) クラス便り 20(木) 入所説明	その他	リーダー会 1 回 27(木) 職員会 ＜見学実習＞ 社協実習生　3 名 ＜実習生＞ 中村学園短大　1 名 福岡女子短大　1 名

9　月			
行 事	3(木) リハーサル 9(水) 3 歳児運動参観日 11(金) 4 歳児運動参観日 17(木) 5 歳児運動参観日 24(木) 誕生会 28(月) 個人懇談(10 日間) 29(火) 5 歳児社会見学	専門職 と の 連 携	19(土) こぐま学園療育訪問 23(水) 教育支援個人票提出 29(火) 教育支援委員会
食 育		地 域 と の 連 携	28(月) 栗拾い
健 康 支 援	17(木) 細菌検査	安 全 管 理	1(火) 避難訓練(火災)消火訓練 28(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者 支 援	1(火) 園・給食・保健便り配布 8(火) 入所説明 15(火) クラス便り	その他	リーダー会 5 回

10　月			
行 事	21(水) 園外活動(4 歳児) 29(木) 芋ほり 30(金) 焼き芋会	専門職 と の 連 携	1(木) アレルギー検査報告書提出 16(金) 発達心理検査 20(火) フィードバック会議 (学校教育課)
食 育	12(月) 冬野菜苗植え 29(木) 弁当の日	地 域 と の 連 携	
健 康 支 援	15(木) 内科検診(3.4.5 歳児) 22(木) 内科検診(0.1.2 歳児) 22(木) 細菌検査	安 全 管 理	8(木) 避難訓練(火災)消火訓練 30(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者 支 援	1(木) 園・給食・保健便り配布 15(木) クラス便り	その他	リーダー会 4 回

11 月			
行 事	4(水) 県指導監査 26(木) 鍛錬遠足	専門職 と の 連 携	12(木) こぐま学園見学 16(月) 教育支援委員会 17(火) こぐま学園療育訪問
食 育	26(木) 弁当の日	地 域 と の 連 携	20(金) 園医訪問
健 康 支 援	12(木) 検尿 18(水) 細菌検査	安 全 管 理	5(木) 加熱式蒸散害虫駆除 12(木) 避難訓練(火災)消火訓練 30(月) 溜枡清掃
保護者 支 援	2(月) 園・給食・保健便り配布 9(月) 入所説明 16(月) クラス便り 25(水) 子どもの育ち展 (パネルの掲示)	その他	13(金) 職員会 リーダー会 6 回 <実習生> 筑紫女学園大学　1 名

12　月			
行 事	3(木) 園内リハーサル 10(木) 会場リハーサル 19(土) 生活発表会３部制 22(火) クリスマス誕生会(各クラス)	専門職との連携	8(火) こぐま学園療育訪問 11(金) ケアマネ療育会議
食 育	21(月) ゆず配布 22(火) もち米洗い 23(水) もちつき	地域との連携	
健康支援	4(金) 歯科検診 17(木) 細菌検査	安全管理	17(木) 避難訓練(火災) 消火訓練 25(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者支援	2(火) 園・給食・保健便り配布 11(金) 入所説明 15(火) クラス便り	その他	15(火) 職員会 リーダー会４回

1月			
行 事	15(金) 凧揚げ	専門職との連携	26(火) こぐま学園療育訪問 29(金) きらきらルーム療育訪問
食 育	15(金) 弁当の日 15(金) ぜんざい会	地域との連携	30(土) 合同説明会
健康支援	21(木) 細菌検査	安全管理	28(木) 避難訓練(地震) 消火訓練 29(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者支援	4(月) 園・給食・保健便り配布 15(金) クラス便り	その他	リーダー会４回

2　月			
行　事	2(火) 節分 25(木) 梅見遠足 26(金) ひな祭り誕生会(各クラス)	専門職 と　の 連　携	
食　育	2(火) 恵方巻	地　域 と　の 連　携	3(水) 八朔ちぎり
健　康 支　援	18(木) 細菌検査	安　全 管　理	3(水) 消防設備点検 18(木) 避難訓練(不審者) 消火訓練 26(金) 加熱式蒸散害虫駆除 26(金) 溜枡清掃
保護者 支　援	1(月) 園・給食・保健便り配布 9(火) 入所説明 15(月) クラス便り 26(金) すくすく便り	その他	リーダー会４回 ＜実習生＞ 福岡女子短大　１名 中村学園短大　１名 筑紫女学園大学　３名

3　月			
行　事	2(火) お別れ交歓会 6(土) 卒園式 27(土) 入所説明会	専門職 と　の 連　携	17(水) こぐま学園療育訪問
食　育	11(木) 春野菜収穫 11(木) 野外炊さん 25(木) 弁当の日	地　域 と　の 連　携	10(水) 保幼小連絡会(水城小) 18(木) 学童指導員訪問
健　康 支　援	17(水) 細菌検査	安　全 管　理	18(木) 避難訓練(地震)消火訓練 24(水) 貯水槽清掃 26(金) 加熱式蒸散害虫駆除
保護者 支　援	1(月) 園・給食・保健便り配布 15(月) クラス便り 10(水) 入所説明 27(土) 入所説明会	その他	6(土) 職員会 リーダー会４回

2　特別保育事業

(1) 延長保育事業

保護者の就労支援のため、平日18時から19時まで1時間の延長保育を実施しました。

≪利用状況≫　（単位：人）

月	月ぎめ利用者数	緊急利用者数
4月	17	47
5月	14	21
6月	18	53
7月	20	68
8月	20	47
9月	17	75
10月	21	63
11月	20	51
12月	17	87
1月	18	50
2月	18	36
3月	17	75
平均	18.0	56.0
前年度 平均	18.5	45.2

(2) 障がい児保育事業

職員間で連携を取りながら、その子の発達状況や日々の状態に応じた保育を包括的に柔軟に実施しました。

障がい児担当職員を4名配置、 個別指導計画の作成、各療育機関との連携と共通理解、家庭支援、発達心理検査とフィードバック会議、教育支援委員会、小学校・学童保育との連携　等

(3) 保育士配置事業

年度途中の入所児童に対応するために、年度当初より保育士3名を増員して保育を実施しました。

(4) 看護師配置事業

看護師1名を配置して児童の健康支援に努めました。

園医との連携、発育調査、怪我や疾病の応急処置、受診の引率、アレルギー・ひきつけ・その他の基礎疾患の把握、看護日誌記入、 医薬品の管理、登園許可証の把握、投薬の管理、健診・検尿後の状況確認、保護者への健康指導、感染症における情報提供　等

(5)　保育の質の向上のための研修事業

個人別研修計画に沿って職員の質の向上を計りました。

実施日	研修名	場所	参加人数
7月8日	ストレスマネジメント研修	クローバープラザ	1人
7月15日	ストレスマネジメント研修	クローバープラザ	1人
7月28日	ストレスマネジメント研修	クローバープラザ	1人
8月6日	発達が気になる子の理解と支援	久留米シティプラザ	2人
10月10日	「報・連・相」強化研修	クローバープラザ	1人
10月28日	特定給食研修	福岡県職員研修所	1人
12月4日	キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	南近代ビル	1人
12月6日	キャリアアップ研修(食育・アレルギー)	南近代ビル	1人
12月17日	キャリアアップ研修(食育・アレルギー)	南近代ビル	1人
12月21日	キャリアップ研修(子育て支援)	南近代ビル	1人
計			11人
前年度 計			146人

※ 今年度はコロナ禍による中止、オンライン等の変更あり

＜その他＞

職員会議（未満児職員会議・以上児職員会議・フリー職員会議　等）10 回

リーダー会議　52 回

クラス会議（随時実施）

自己評価　（前期・後期各1回）

3　地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター『たんぽぽクラブ』の運営）

コロナ禍での孤立感や子育ての不安感の緩和に努め、共に集い繋がることを通して利用者自身が子育てに楽しさや安心感を得ることができるような取り組みを行いました。

(1)　グループ活動

子どもの年齢や発達に応じた遊びと交流の場の提供を行いました。

<活動場所>

総合福祉センター、保育所太宰府園、観世音寺、大宰府政庁跡、近隣公園　等

ア　ひよこグループ　0歳児対象　毎週金曜日 10:00～12:00 実施

月	回数	参加人数	内　容（身体測定は毎月実施）
7月	4回	48人	ふれあい遊び　乳児のおもちゃ 布遊び　風船遊び
8月	3回	38人	乳児のおもちゃ　わらべうた遊び　マット
9月	4回	58人	ひきひきおもちゃ　手作りおもちゃ作り
10月	5回	73人	ふれあい遊び　ハロウィンおもちゃ作り　サロン
11月	4回	60人	積み木　絵本読み聞かせ　サロン
12月	4回	46人	ボールあそび　クリスマス会　カタカタおもちゃ

1月	2回	16人	ペットボトルおもちゃ　ふれあい遊び
2月	2回	8人	おひな様作り
3月	4回	53人	布遊び　手型とり　サロン
計	32回	400人　（1回平均　12.4人）	
前年度 計	54回	1,018人　（1回平均　18.8人）	

※ 感染拡大防止のため、4～6月は活動を休止しています。

※ その後は、参加人数を制限して実施しました。

イ　うさぎグループ　1歳児対象　毎週火曜日　10:00～12:00

月	回数	参加人数	内　容（身体測定は毎月実施）
7月	4回	27人	自己紹介　牛乳パック積み木　リズム遊び　紙芝居
8月	4回	14人	お砂場遊び　ボール遊び　パネルシアター
9月	4回	44人	わらべうた　手作りおもちゃ作り　シャボン玉
10月	4回	53人	運動遊び　木の実拾い　ハロウィンおもちゃ
11月	3回	46人	お砂場遊び　製作(ポンポンボール)　紙芝居
12月	4回	59人	チェーン・ビーズ落とし　年賀状作り　クリスマス会
1月	2回	14人	ごっこ遊び
2月	1回	11人	おひな様作り
3月	5回	69人	わらべうた　手型とり　シャボン玉
計	31回	337人　（1回平均　10.9人）	
前年度 計	49回	1,078人　（1回平均　22.0人）	

※ 感染拡大防止のため、4～6月は活動を休止しています。

※ その後は、参加人数を制限して実施しています。

ウ　ぞうグループ　2歳～未就園児対象　第1水曜,第2～第5木曜　10:00～12:00

月	回数	参加人数	内　容（身体測定は毎月実施）
7月	4回	62人	自己紹介　ままごと　手作りおもちゃ作り
8月	3回	32人	公園遊具　電車のおもちゃ　手袋シアター
9月	5回	58人	時計作り　体操　ふれあい遊び　魚釣り遊び
10月	4回	60人	電車ごっこ 布遊び 運動遊び　エプロンシアター
11月	4回	50人	園庭自由遊び　お砂場遊び　フープ遊び　製作
12月	3回	30人	洗濯ばさみ遊び　年賀状作り　クリスマス会
1月	2回	25人	ごっこ遊び(お医者さん・メイク)　運動遊び

2月	2回	11人	ままごと　紙コップロケット作り　おひな様作り
3月	4回	51人	自然散策　人形・ぬいぐるみ遊び　手型とり
計	31回	379人　（1回平均　12.2人）	
前年度 計	52回	815人　（1回平均　15.7人）	

※ 感染拡大防止のため、4～6月は活動を休止しています。

※ その後は、参加人数を制限して実施しています。

(2) 出前保育　パフ(Puff)

地域の方々と協働して、地域に根差した子育て支援に取り組みました。

サロン名	まんまるクラブ			おひさまサロン		
地域	星ヶ丘公民館			高雄公民館		
活動日	毎月第1木曜日　10:00～12:00			毎月第3水曜日　10:00～12:00		
	利用者数			利用者数		
	大人	子ども	計	大人	子ども	計
7月	6人	3人	9人	14人	12人	26人
8月	8人	6人	14人	9人	3人	12人
9月	9人	4人	13人	10人	5人	15人
10月	8人	6人	14人	10人	5人	15人
11月	9人	7人	16人	9人	3人	12人
12月	10人	9人	19人	12人	7人	19人
計	50人	35人	85人	64人	35人	99人
前年度 計	102人	70人	172人	115人	55人	170人

※ 感染拡大防止のため、4～6月及び1～3月は活動を休止しています。

(3) 園舎内活動

ア　たんぽぽサロン・園庭開放・青空文庫

利用者が訪れやすい環境作りを大切にし、ニーズに応えた個別の対応を行うことで子育ての安心感につなげました。

月	たんぽぽサロン			園庭開放			青空文庫	
	大人	子ども	計	大人	子ども	計	利用人数	貸出冊数
6月	20人	22人	42人	6人	7人	13人	44人	51冊
7月	30人	38人	68人	10人	12人	22人	64人	75冊
8月	21人	26人	47人	7人	8人	15人	98人	112冊
9月	14人	15人	29人	4人	5人	9人	108人	119冊

10月	19人	22人	41人	5人	5人	10人	180人	190冊
11月	30人	33人	63人	14人	18人	32人	187人	189冊
12月	14人	15人	29人	6人	6人	12人	126人	129冊
1月	5人	5人	10人	0人	0人	0人	39人	39冊
2月	14人	19人	33人	2人	2人	4人	0人	0冊
3月	15人	18人	33人	3人	3人	6人	46人	47冊
計	182人	213人	395人	57人	66人	123人	892人	951冊
前年度	210人	225人	435人	171人	189人	360人	841人	893冊

※ 感染拡大防止のため、4～5月は活動を休止しました。また、その他の月は、活動を休止している日があります。

イ 育児相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度計
件数	5	108	31	22	33	28	23	33	28	10	133	30	484	153

具体的相談内容

緊急事態宣言中の状況確認、心身の成長・発育、疾病や予防接種、兄弟関係
食事(ミルク、離乳食、マナー、偏食 等)、友達関係(かかわり方、人見知り)
生活習慣(夜泣き 等)、気になる行動(かんしゃく、かみつき、大声、発達・言葉の遅れ 等)、就園について、活動について

(4) 子育て講座 POPO

ア 子育てに関する様々な講座を実施いたしました。

実施日	内 容	大人	子ども	計
10月26日	親子でわらべうた	9人	11人	20人
11月16日	親子でわらべうた	6人	7人	13人
12月 2日	音楽会	17人	20人	37人
12月23日	親子でわらべうた	9人	10人	19人
3月15日	ふれあい遊び	7人	9人	16人
計		48人	57人	105人
前年度 計		156人	155人	311人

※ 年 12 回を予定していましたが、感染拡大防止のため5回の実施となりました。

イ　パパと一緒に遊ぼう

日ごろ参加することの少ない父親に対し、たんぽぽクラブの活動を通して育児の楽しさを感じてもらうと共に、母親の育児負担感の軽減につなげました。

実施日	場　所	参加人数
10月24日	観世音寺	13人（大人 6人、子ども 7人）
3月13日	保育所太宰府園	11人（大人 5人、子ども 6人）
計		24人（大人11人、子ども13人）
前年度 計		29人（大人14人、子ども15人）

※ 年4回の予定でしたが、感染拡大防止のため2回の実施となりました。

ウ　子育てボランティア講座

子育てボランティアに関心をもち活動している地域の方々を対象に、昨年度を踏まえてさらなる知識の向上や実技を学ぶ機会とつながり作りを行ないました。

・場所：総合福祉センター3階　大会議室

・講師：福岡子ども短期大学　三原紹子先生

実施日	内　容	参加人数
12月 9日	保護者とのコミュニケーション （悩み相談の対応　等）	11人
1月13日	子どもとのコミュニケーション （年齢別遊びの実技）	9人
2月15日	コミュニケーションツールとしての遊び （子育て支援者の役割と振り返り）	8人
計		28人
前年度 計		15人

エ　子育て支援センター会議

各支援センターの状況報告を行いました。

・実施日：7月14日(火)

・場　所：太宰府市子育て支援センター

・参　加：太宰府市子育て支援センター　2名
　　ちくし・子育て支援センター　3名
　　保育所太宰府園たんぽぽクラブ　3名

オ　情報の発信と提供

たんぽぽ便り通信の発行

・総合福祉センター、市民図書館、中嶋医院、市役所、いきいき情報センター、保健センター、子育て支援センター、ルミナス　等に配架

・社協だより「ふくしのひろば」に掲載

・看板設置

資　料

1　法人運営関連

(1)　理事会の開催

開催月日	審議事項
第１回 ５月 21 日（木）	第１号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 第２号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について 第３号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について 第４号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について 第５号議案　令和２年度第１回評議員選任・解任委員会の招集について 第６号議案　令和２年度第１回評議員会の招集について
第２回 ６月 11 日（木）	第５号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会副会長の選定について 第６号議案　平成 31 年度事業報告について 第７号議案　平成 31 年度一般会計決算及び監査報告について 第８号議案　令和２年度第２回評議員会の招集について
第３回 11 月 27 日（金）	第９号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会給与規程の一部改正について 第 10 号議案　令和２年度一般会計補正予算（第１号）について 第 11 号議案　令和２年度第３回評議員会の招集について
第４回 ３月 23 日（火）	第 12 号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 第 13 号議案　令和２年度一般会計補正予算（第２号）について 第 14 号議案　令和３年度役員等賠償責任保険契約の内容の決定について 第 15 号議案　令和３年度事業計画について 第 16 号議案　令和３年度一般会計予算について 第 17 号議案　令和２年度第４回評議員会の招集について

(2)　評議員会の開催

開催月日	審議事項
第１回 ６月４日（木）	第１号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会理事の選任について
第２回 ６月 29 日（月）	第２号議案　平成 31 年度事業報告について 第３号議案　平成 31 年度一般会計決算及び監査報告について
第３回 12 月７日（月）	第４号議案　令和２年度一般会計補正予算（第１号）について
第４回 ３月 30 日（火）	第５号議案　令和２年度一般会計補正予算（第２号）について 第６号議案　令和３年度事業計画について 第７号議案　令和３年度一般会計予算について

(3)　評議員選任・解任委員会の実施

開催月日	審議事項
第１回 ５月 28 日（木）	第１号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員の選任について 第２号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員の選任について 第３号議案　社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会評議員の選任について

(4)　監査の実施

開催月日	内　　容
決算監査 ５月 19 日（火）	平成 31 年度一般会計及び共同募金（事務費）決算監査
中間監査 11 月 16 日（月）	令和２年度一般会計中間監査

2　管理・運営　【重要契約】

(1)　拠点１：社協経営

ア　委託・保守

委託名等	委託等の概要	金額（円）	債権者名
総合福祉センター日常清掃及び夜間受付案内業務	総合福祉センター内清掃、夜間受付業務	3,113,000	㈱筑紫ビル管理
マイクロバス運転並びに車両管理業務	マイクロバス運転並びに車両管理業務	3,190,000	㈱筑紫ビル管理